

2009年5月14日

決意はさらに大きく強く
——みんなの幸せをあと押ししたい——
(代表選挙公約)

衆議院議員 岡田 克也

私は民主党結党以来、政調会長、幹事長、代表として、民主党の政策の基盤を作ってきました。そして、その延長線上にあるのが、現在の民主党の政策です。したがって、その方向性は維持しつつ、次期総選挙のマニフェストとして、さらに具体化します。その上で「政権300日プラン」を作成し、政策の優先順位づけと財源の明確化を行います。このため、代表選挙後速やかに、党内に「マニフェスト作成委員会（仮称）」を設置し、全党的議論を行います。

I 重点政策

1. 安心できる年金、医療、介護の立て直し、子育て支援を含むセーフティネットの抜本改革

- (1) 年金制度の抜本改革（年金制度の一元化、基礎年金の全額税方式化、過去債務270兆円の切り離し）、「消えた年金」「消された年金」問題の早期徹底解決
- (2) 年齢、地域によらず安心して頼れる医療、介護制度の再構築
- (3) 子ども手当の創設、高校の実質無償化
- (4) 雇用のセーフティネット拡充（雇用保険の適用拡大、求職者支援手当）

2. 政治の強いリーダーシップでムダづかいの一掃

- (1) 官邸・霞が関改革（政府・与党の一元化、人事権と予算の掌握）
- (2) 徹底した行財政改革の断行（天下りの全面禁止、行政刷新会議によるムダ撲滅、国家公務員総人件費2割削減）

3. 「地方主権」で国のかたちを作り直し、地域の元気を取り戻す

- (1) 中央政府の権限・財源を絞り込み、地域のことは地域が決める、地方主権の確立
- (2) 中小企業を地域の基幹産業、雇用の受け皿と位置づけ、支援を充実
- (3) 高速道路の無料化で地方の流通コストを大幅引き下げ
- (4) 国際競争力のある農業の確立と、戸別所得補償制度の組み合わせで、食料自給率のアップ

4. 経済危機を克服し、強い日本経済をつくる

- (1) 地球温暖化対策を軸にした、新産業創造型の成長戦略
- (2) コンクリートへの投資から人への投資へ（医療、介護、教育）
- (3) 技術革新を促進し日本の国際競争力を高める
- (4) 空港、港湾への戦略的重点投資でアジアの成長を日本の成長へ

5. 「開かれた国益」を実現するための外交

- (1) アジア地域の信頼関係醸成と相互依存の深化による豊かさと平和の実現
- (2) 価値観を共有するオバマ政権との共働による世界的課題への取り組みと、日米同盟関係の強化
- (3) 世界の核廃絶に向け、核軍縮・不拡散への具体的取り組み（北東アジア非核兵器地帯条約）

6. 政治の信頼を取り戻す

- (1) 企業・団体献金の全面的な禁止
- (2) 世襲の制限（同一選挙区で連続して三親等内の親族が立候補することを内規で禁ずるとともに、政治資金の事実上の相続を禁ずる法改正を行う）
- (3) 国会議員の定数1割削減（衆院は比例区80議席減）

II 政権300日プランの作成と財源の明確化

1. 政権300日プランの作成と国民への早期説明

- (1) 来年の参院選までの1年間を「改革第1期」とし、政治改革や行政改革などを短期間で着実に実行
- (2) 残りの3年を「改革第2期」とし、日本経済を着実な成長軌道に乗せ、社会のセーフティーネットを再構築するなど中長期的な課題を克服

2. 財源の明確化

徹底したムダ撲滅と具体的な歳出削減。「財源なくして政策なし」との基本原則の下、政策を実行

以上の政策を着実に実行するため、これまで築き上げられた、支援団体および他党との協力関係を引き続き堅持していきます。

以上